

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

「技術の優位性」「人の和」を理念とし、「For The Customer」を基盤に、ステークホルダーにとって価値ある企業グループであり続けることを目指す。

売上高経常利益率
5.2%

ROE
5.9%

2 中長期の経営戦略

1. 事業部門の収益強化

印刷情報関連は食品包材向け熱転写リボン・有機ELデバイス用乾燥剤を伸ばす。住生活環境関連は採算改善・衣料関連の見直し。包材関連は新機能・新市場展開と蓋材採算改善。

3. 気候変動への対応

CO2排出量削減手段、TCFD・TNFDの取組み、製造工程の最終処分量削減を検討。

2. 技術開発の重点推進

環境対応、ニッチ市場、抗ウイルス・抗菌テーマを継続。炭素素材・シリコン素材加工による情報関連製品や、軽量化・リサイクル可能・減プラスチック・省エネ商品の開発強化。

4. 人材投資の推進

健康経営優良法人認定取得、女性従業員比率向上、管理職登用推進、海外拠点の人材育成制度導入。

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・為替変動や地政学リスクによる原材料価格・調達コスト高騰に対応
- ・米国新政権の関税政策影響に備える必要がある

② 中期経営計画の最終年度での目標達成

- ・販売強化、採算改善、開発強化に着実に取り組む
- ・2026年3月期に売上高経常利益率5.2%、ROE5.9%の達成

③ ガバナンス・リスク管理の強化

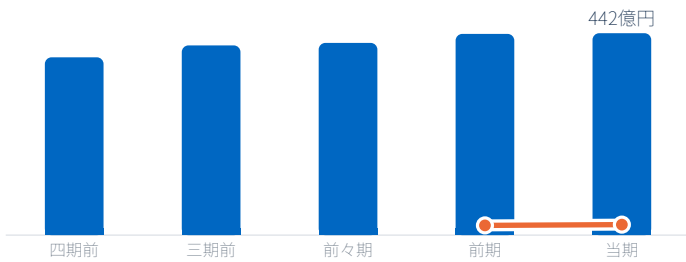
- ・コーポレートガバナンス強化に積極的に取り組む
- ・内部統制維持・向上、リスク管理体制の強化

面接で使えるポイント

- ・「中期経営計画SOLID FOUNDATION2026」の最終年度において、販売強化・採算改善・開発強化に注力し…
- ・環境対応や人材投資、BCP対応などの非財務部門をサステナブルな社会構築に向けて戦略的に推進していること。
- ・食品包材向け熱転写リボンや有機ELデバイス用高性能乾燥剤など、特定分野での技術優位性を強化する事業戦略。

証券コード 3551

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
442億円営業利益率
5.2%財務健康度
27点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 43.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
615万円

繊維製品内 24位/49社

平均年齢
42.18歳

繊維製品内 37位/49社

平均勤続
17.36年

繊維製品内 26位/49社

女性管理職
2.2%

繊維製品内 35位/37社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ダイニツク(株)【3551】：決算情報

